

高岡市総合計画第3次基本計画「まちづくり指標」進捗状況一覧表
(◎は総合計画まちづくり指標と総合戦略KPIを兼ねる指標)

No.	分野	めざすまちの姿(総合計画) /基本目標(総合戦略)	施策	指標	担当課	算出方法及び補足説明	指標区分	単位	基準値	目標値 H30年度 (H29年度)	実績値 H30年度 (H29年度)	達成率 H30年度 (H29年度)	目標値 R3年度	分析と対応
1	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	①新たな事業活動の創出	◎創業件数(累計)	産業企画課	創業支援事業計画を基にする創業件数により算出(観光地及び中心市街地での開業件数を含む。)。5年間で600件の創業件数を目指す。	増加指標	件	159	240 (120)	311 (149)	129.6% (124.2%)	600	創業推進の取組みにより、目標値を上回ることができた。引き続き創業件数の増加に向けて取り組みを継続していく。 また、とやま呉西圏域で実施する「創業者訪問ツアー」など新たな手法も活用しつつ、引き続き創業機運の醸成を図っていく。
2	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	②地域産業の競争力強化	◎新技術・新製品・新サービス開発件数(累計)	産業企画課	新分野開拓チャレンジ事業補助金の採択結果を基にフォローアップ。毎年20件の増加を目指す。	増加指標	件	7	40 (20)	14 (11)	35.0% (55.0%)	100	新技術・新製品開発補助金及び地域資源活用事業支援補助金の申請件数は5件/年、うち採択件数が3件/年であり、戦略的販路開拓支援補助金に比べ、新技術・新製品の開発に係る事業は少なかった。目標値に対する達成値は低迷しているが、決して市内での技術開発が進んでいないわけではないと考えられる。 (H30年度TONIOファンド事業の市内事業者の採択件数は13件あり、より補助額の大きい制度を事業者が活用している可能性がある。) 当補助金申請者も含めてのフォローアップ、関係機関との連携、専門家活用支援を通じて開発情報の把握に努めていく。
3	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	②地域産業の競争力強化	◎伝統産業の生産額	産業企画課	富山県の調査に基づく伝統的工芸品の生産額	維持指標	百万円/年	12,374	12,670 (12,670)	11,495 (11,659)	90.7% (92.0%)	12,670	ライフスタイルや嗜好の変化による個人消費の落ち込みや後継者不足などの課題は依然として残るものの、概ね目標に近い実績となった。 伝統産業を首都圏で開催されるギフトショー等へ出展する際の支援や新高岡駅周辺でのPRIによる魅力発信、販路開拓を図り、また人材育成スクールや事業承継に対応した融資制度等により、後継者の支援に努めていく。
4	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	③産業基盤の整備・企業立地の推進	◎企業団地への進出企業数(累計)	産業企画課	企業団地への分譲実績を踏まえ、毎年2件の分譲を目指す。	増加指標	社	3	4 (2)	4 (4)	100.0% (200.0%)	10	平成29年度に四日市工業団地が分譲完了。平成30年度は残る大滝工業団地1区画の分譲と、新たに造成を開始したICパーク高岡のPRIに努めた。大滝工業団地については複数の引き合いがあったものの、直接の分譲に至らなかった。 平成31年3月27日よりICパーク高岡の分譲申込の受付を開始しており、9月末で3社との契約を完了した。 ICパーク高岡及び大滝工業団地の早期分譲完了を目指し、引き続き、積極的な企業誘致に努めていく。併せて大滝工業団地の分譲を目指し、引き続き積極的な企業誘致活動に努めていく。
5	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	④中小・小規模企業の経営基盤強化	専門家派遣利用企業数	産業企画課	高岡市中小企業支援専門家派遣事業補助金の交付実績を基に算出	維持指標	件/年	11	11 (11)	4 (5)	36.4% (45.5%)	11	企業訪問等を通じて、支援制度の活用を積極的に勧めており、引き続き、企業訪問を継続して実施し、メルマガやその他広報・資料配布の機会を捉えてPRを行う。
6	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	④中小・小規模企業の経営基盤強化	伝統産業の技術・技法の継承者が市内企業に定着する人数(累計)	デザイン工芸センター	高岡市伝統工芸産業希少技術継承事業補助金の交付対象者(継承者)の人数。30年度まで毎年1人、31年度から2年に1人の増加を目指す。	増加指標	人	1	2 (1)	1 (1)	50.0% (100.0%)	5	育成者の高齢化が進むなか、希少技術の継承が急務である。 令和元年度から本補助金を休止しているが、「高岡市伝統工芸産業人材養成スクール」のコース内容の拡充を図り、デザインから造形まで、トータルな工芸技術の習得を通して、次代を担う人材の養成に取り組んでいる。
7	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	⑤雇用・勤労者福祉の充実	合同就職面接会における就職率	商業雇用課	合同就職面接会に参加した求職者のうち採用された者の割合。直近3年の平均値を超える割合を維持する。	維持指標	%	12.2 (H25-H27の平均値)	13 (13)	17.2 (17.9)	132.3% (137.7%)	13.0	若者の雇用の場の創出・就業促進は順調に推移している。就職率は高い状態で推移しているが、企業の人手不足感が強い状況下にあるため、参加求職者数の維持にも努めていきたい。 令和元年11月に、「2019人材マッチングフェア」の実施を予定している。
8	地域産業	2 水・緑・食が豊かで暮らしにうおいがある	①農業の持続的発展	担い手への農地集積率	農業水産課	国の法律(農業経営基盤強化促進法)に基づき、担い手への農地集積を図る。	増加指標	%	61	69 (66)	64 (63)	92.1% (95.0%)	76	集落営農の法人化が平成29年度に一定程度収束したことに伴って、集積率も伸び悩み、目標値を下回ることとなった。 令和元年度は、農地中間管理事業及び機構集積協力金の周知及び実施や、人・農地プランの実質化へ向けた取組みを実施する。 今後も、国の制度を活用しながら、さらなる担い手への集積に向けて支援を行っていく。

No.	分野	めざまちの姿(総合計画) /基本目標(総合戦略)	施策	指標	担当課	算出方法及び補足説明	指標区分	単位	基準値	目標値 H30年度 (H29年度)	実績値 H30年度 (H29年度)	達成率 H30年度 (H29年度)	目標値 R3年度	分析と対応
9	地域産業	2 水・緑・食が豊かで暮らしにうおいがある	①農業の持続的発展	6次産業化の新規事業取組者数(累計)	農業水産課	毎年1人の6次産業化新規事業取組者数の増加を目指す。	増加指標	人	2	2 (1)	2 (1)	100.0% (100.0%)	5	目標値を達成しており、今後も6次産業化の取り組みへの支援を行う。 令和元年度は、特産品開発アドバイザー派遣事業及び6次産業化普及支援事業の実施を行っていく。
10	地域産業	2 水・緑・食が豊かで暮らしにうおいがある	②農山村の振興	都市農村交流事業による交流人口	農業水産課	市で把握する交流イベント(里山交流センター、自然休養村等)の参加者数	維持指標	人/年	7,700	7,700 (7,700)	2,050 (2,764)	26.6% (35.9%)	7,700	自然休養村の解体により、目標値を大きく下回ることとなった。 今後も、里山交流センターのイベントは継続して行うこととしており、市広報紙などによる里山交流イベントの周知を行っていく。
11	地域産業	2 水・緑・食が豊かで暮らしにうおいがある	③林業の振興	里山の再整備面積	農地林務課	里山再生整備事業により実施した竹林等の整備面積の合計。毎年15ヘクタールの整備を目指す。	維持指標	ha/年	15	15 (15)	20 (10)	132.7% (66.7%)	15	目標値を達成しているところであり、今後も、事業のPRを引き続き行い、市民協働による里山林整備を推進していく。
12	地域産業	2 水・緑・食が豊かで暮らしにうおいがある	④水産業の振興	アユ等の稚魚放流数	農業水産課	富山県の計画に基づく。	維持指標	kg/年	3,605	3,605 (3,605)	2,650 (2,705)	73.5% (75.0%)	3,605	県から小矢部川漁業協同組合に対して指示される義務放流量を踏まえて支援をしており、今後も義務放流量の範囲内で、継続して支援を行うこととする。
13	歴史・文化	3 世代を超えて受け継がれてきた歴史資産が大切に継承され、輝いている	①文化財の保存・活用	歴史・文化施設入込者数(瑞龍寺、勝興寺、土蔵造りのまち資料館、鋳物資料館、伏木気象資料館、古城公園、御車山会館)	生涯学習・文化財課	全体として5年間で約3%の増加を目指す。	増加指標	件/年	1,175,372	1,190,000 (1,178,000)	1,149,436 (1,124,660)	96.6% (95.5%)	1,210,000	目標値は達成していないが、概ね順調に増加している。 今後、勝興寺の保存修理工事が順次完了し、全貌が現れるにつれ、参拝者も増加してくるものと考えており、フルオープンに向けた環境整備等の取り組みを進めていく。
14	歴史・文化	3 世代を超えて受け継がれてきた歴史資産が大切に継承され、輝いている	②歴史的風致の保全・活用	建築物等の修景実績件数(累計)	都市計画課	景観形成重点地区内及び住民協定区内の修景実績件数。毎年3件の増加を目指す。	増加指標	件	3	6 (3)	7 (4)	116.7% (133.3%)	15	旧北陸街道福岡景観形成重点地区内において宅地分譲地が整備されたことから、修景件数が増加し、目標値を達成できた。 今後も、古くから残る町並み景観形成を図っていくため、景観形成に対する地元住民の意識向上を図っていく。
15	歴史・文化	4 暮らしの中に万葉と前田家ゆかりの文化が息づいている	①地域に根ざした創造的な芸術・文化活動の育成	「TAKAOKA まちも、ものづくりも、ライバルはご先祖様。」文化創造都市HPアクセス数	文化創造課	1年間のPV数	増加指標	件/年	H28年度開始	24,000 (22,000)	26,001 (25,134)	108.3% (114.2%)	30,000	目標値を達成しており、今後も事業を継続するとともに、ウェブサイトの内容を一部リニューアルし、よりアクセスしやすいものとしていく。
16	歴史・文化	4 暮らしの中に万葉と前田家ゆかりの文化が息づいている	①地域に根ざした創造的な芸術・文化活動の育成	高岡市万葉歴史館の入館者数	文化創造課	毎年約1,000人の増加を目指す。	増加指標	人/年	24,290	27,000 (26,000)	22,736 (23,783)	84.2% (91.5%)	30,000	大伴家持1300年記念事業が一段落し、入館者数は目標値に届いていない。 しかし、元号「令和」発表後、特別展示や館長特別講座を実施しているほか、秋頃には天皇陛下の即位行事に関連した特別展示等を予定している。入館者数は大幅な増加傾向にあり、この効果を持続させるため、客層を広げる事業などに引き続き取り組んでいく。
17	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	①観光資源の発掘と保存・活用	◎高岡市の観光客入込数	観光交流課	各観光地及びイベントにおける入込数の合計値	増加指標	万人/年	380	420 (400)	385 (377)	91.7% (94.3%)	450	目標値を下回ったものの、北陸新幹線開業後、最高の観光入込数となった。 今後はさらなる観光地やイベントの知名度アップを図るため、出向宣伝や広告宣伝、旅行代理店へのプロモーションなどを積極的に行っていく。
18	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	①観光資源の発掘と保存・活用	着地型旅行商品の参加者数	観光交流課	市内で着地型商品を取り扱う事業者への照会 毎年100人の増加を目指す	増加指標	人/年	2,067	3,600 (3,500)	7,481 (9,092)	207.8% (259.8%)	3,900	目標値を達成しており、今後も、高岡市観光協会や地元観光事業者との連携のもと、着地型商品の造成を図っていく。
19	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	②広域観光の推進	旅行プログラムの販売人数	観光交流課	造成した旅行商品の購入者数(実売数) 毎年1,000人の維持を目指す。	維持指標	人/年	-	1,000 (1,000)	1,271 (937)	127.1% (93.7%)	1,000	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。 近年の傾向として、団体旅行から個人旅行へシフトし、オンラインエージェントによる旅行手配が身近なものとなっていることから、旅行形態や動向を踏まえバランスの取れた旅行プログラムの提供を働き掛けていく。

No.	分野	めざすまちの姿(総合計画) /基本目標(総合戦略)	施策	指標	担当課	算出方法及び補足説明	指標区分	単位	基準値	目標値 H30年度 (H29年度)	実績値 H30年度 (H29年度)	達成率 H30年度 (H29年度)	目標値 R3年度	分析と対応
20	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	③イメージアップ・誘致活動の強化	観光ボランティアの利用者数	観光交流課	毎年1,000人の増加を目指す	増加指標	人	25,055 (H25-H27の 平均値)	27,000 (26,000)	29,861 (24,528)	110.6% (94.3%)	30,000	目標値を達成しており、引き続き、観光ボランティアガイドの紹介・観光地・申込方法などを、高岡市観光協会のホームページで情報提供し、利用者の増加を図っていく。
21	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	③イメージアップ・誘致活動の強化	高岡関連PR記事等の掲載件数	広報情報課	雑誌、新聞、テレビ等で掲載された件数 毎年90件の掲載を目指す	維持指標	件/年	85 (H25-H27の 平均値)	90 (90)	277 (308)	307.8% (342.2%)	90	平成30年度は、平成28年度から実施してきたプレスツアーやプレスリリースの成果が顕著にみられた。具体的には、中国メディアから日中若手職人交流事業へつながった。また、WEBメディアへの掲載が関連するWEBメディアへ(例えば、ビジネスインサイダーからヤフー等)広がることにより、ここ数年のWEBメディアでの実績値が伸びていると分析している。 また、問合せがあった取材等には、全て広報職員が同行するなどより効果が高まるようアテンドの対応を積極的に行った。 これまでは、委託事業によりプレスリリース、プレスツアーを実施したが、令和元年度以降はこれまで関わりを持ったメディアに対し、自前でプレスリリースを作成して情報提供を定期的の実施していく。
22	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	④国内・国外交流の推進	コンベンション誘致件数	観光交流課	各種団体や学会の全国大会・ブロック大会・スポーツ大会の合計値 3件の増加を目指す。	増加指標	件/年	17	20 (20)	27 (20)	135.0% (100.0%)	20	目標値を達成しており、引き続き、コンベンション補助情報を、出向宣伝や高岡市観光協会のホームページで情報提供し、利用者の増加を図っていく。
23	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	⑤インバウンドの推進	◎外国人宿泊者数	観光交流課	市内宿泊施設の宿泊した外国人の合計値(国の算出方法に準拠)	増加指標	人/年	8,823	8,000 (8,000)	10,511 (8,522)	131.4% (106.5%)	9,000	目標値を達成しており、引き続き、出向宣伝や広告宣伝、旅行代理店へのプロモーションなどを積極的に仕掛けていく。
24	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている	①商業・サービス業の振興	中心商店街・観光地周辺における新規開業店舗数	商業雇用課	中心商店街、観光地における開業支援件数(10件/年)※累計	増加指標	件	H28年度開始	20 (10)	26 (14)	130.0% (140.0%)	50	目標値を達成しており、今後も、商工会議所と連携し、開業希望者の経営相談に応じるなど、費用面以外でも支援の体制を整えていく。
25	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている	②中心市街地活性化の推進	中心市街地・観光地周辺における歩行者通行量(1日あたり)	商業雇用課	高岡駅前(人工デッキ)、末広町(東)、末広町(西)、御旅屋通り、大仏前、山町筋観光駐車場前の6地点の平日、休日の平均値の合計(毎年10月調査)	増加指標	人/日	16,670	17,100 (17,100)	17,517 (18,229)	102.4% (106.6%)	17,670	目標値を達成しているものの、今後は百貨店閉店の影響も考慮した施策展開を図っていく。 人口増減の影響は±0を目指すこととし、令和元年度は末広西集合住宅と富山銀行の開業効果で+460、令和3年度は駅東地区のマンション開発で+110を見込んでいる。
26	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている	③市街地の整備	市街地整備区域内の居住人口	都市計画課	末広西地区 住宅戸数84×人数2	増加指標	人	-	168 (-)	196 (-)	116.7% (-)	168	当初計画より整備戸数が増加したことで、大幅に目標値を上回った(84戸→98戸)。 現在、他地区ではあるが、マンション建設が行われており、引き続き中心市街地の居住人口対策に支援している。
27	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている	④住宅・宅地の整備	◎まちなか居住推進総合対策事業に伴う定住人数	建築政策課	5年間で300人の増加を目指す (毎年60人ずつの増加)	維持指標	人/年	60 (H25-H27の 平均値)	60 (60)	86 (67)	143.3% (111.7%)	60	目標値を達成しており、引き続き、事業の周知を行い、まちなか区域の居住を推進していく。
28	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている	④住宅・宅地の整備	老朽危険空き家除却支援件数	建築政策課	老朽危険空き家の解体を行う者への補助件数 実績を積み上げながらH33には8件の補助を目指す	増加指標	件/年	5	6 (6)	11 (13)	183.3% (216.7%)	8	目標値を達成しており、引き続き事業を行っていく。 空き家対策の業務を通して把握した老朽危険空き家については、今後も除却を促進していく。
29	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている	⑤良好な都市景観の創出	違反屋外広告物等の是正件数	都市計画課	違反屋外広告物及び既存不適格広告物に対して指導等し、是正された件数の確認をする。	増加指標	件/年	4	10 (10)	11 (10)	110.0% (100.0%)	10	屋外広告物モデル路線において現況調査を実施し、違反広告物の所有者に是正を指導した。また既存不適格広告物の所有者に早期是正を呼び掛けていた。これらのことから是正件数が増加し、目標値を上回った。 既存不適格広告物の是正期限(令和2.6.30)に向けて所有者に一斉通知を行うなど、是正指導の強化を図っていく。

No.	分野	めざすまちの姿(総合計画) /基本目標(総合戦略)	施策	指標	担当課	算出方法及び補足説明	指標区分	単位	基準値	目標値 H30年度 (H29年度)	実績値 H30年度 (H29年度)	達成率 H30年度 (H29年度)	目標値 R3年度	分析と対応
30	交流・観光	7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている	①高岡駅・新高岡駅周辺の一体的整備	公共交通乗車人数(JR西日本、あいの風とやま鉄道、万葉線、路線バス、コミュニティバス)	総合交通課	各交通事業者公表値より	維持指標	人/日	25,319	25,770 (25,310)	24,445 (24,605)	94.9% (97.2%)	25,430	新幹線開業以降、観光誘客等の新幹線利用促進の積極的な取り組みにより、利用者数は増加傾向にあるが、万葉線、路線バス等は利用者数は減少傾向にある。このため、モビリティマネジメントの普及を図るとともに、公共交通利用促進のPRや事業者への支援に努める。 地域ニーズに対応可能な地域バス、地域タクシーの導入に向けた、制度周知を図っていく。
31	交流・観光	7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている	②高速道路網・幹線道路網・地域公共交通体系の整備	◎公共交通人口カバー率	総合交通課	H27国調人口データを基に算出 (総合交通戦略策定時データ参照) タクシー除く	増加指標	%	79.9	81.1 (80.7)	単年度把握指標ではない	—	82.2	あいの風とやま鉄道やぶなみ駅が開業したものの、人口減少による対象エリアの利用人数の減少の影響から路線バスの統廃合が進んでおり、地域バス、地域タクシーといった市民協働型交通システムの導入促進に努め、カバー率の向上を目指す。 また、・鉄道、バスといった市域を跨ぐ広域交通(路線)の維持に努める。 単年度把握指標ではない。次回実績値報告はH32(H31実績)
32	交流・観光	7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている	②高速道路網・幹線道路網・地域公共交通体系の整備	都市計画道路整備率	道路整備課	都市計画道路延長に対する改良済延長の割合	増加指標	%	77.1	78.6 (78.1)	77.8 (77.7)	99.0% (99.5%)	80.1	目標値を概ね達成しており、引き続き、国・県に対し事業の促進を働きかけていくとともに、市においても着実に事業を推進していく。
33	交流・観光	7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている	③港湾の整備・活用	船舶の寄港数(クルーズ客船・RORO船)	みなと振興課	毎年10～13件の寄港を目指す	増加指標	隻/年	7	11 (10)	5 (4)	45.5% (40.0%)	13	平成30年度の寄港数は、クルーズ船4回、RORO船1回であった。全国的にクルーズ船の誘致活動が盛んになっており、隣港の金沢港では、平成30年度の寄港回数は47回である。理由として、能登半島による航路の大回りの他、金沢港はJR、高速道路へのアクセスが良いため、金沢港で下船し富山方面へのツアーを実施するケースもあり、背後観光地が重複していると考えられる。令和元年度も国内のクルーズ船社等へ市長トップセールスをはじめ、県や各種団体と連携し、担当者レベルにおいて船社等の訪問を実施している。 近年、人気のある体験型観光や観光列車との連携企画など、クルーズ客向けの新たな寄港地観光プランの醸成に向けて、関係機関と協力しながら取り組んでいく。
34	交流・観光	7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている	④広域連携の推進	◎「呉西圏域」都市圏ビジョン記載連携事業の実施数	都市経営課	H33度までに30事業の実施を目指す	増加指標	事業	H28年度開始	29 (28)	26 (24)	89.7% (85.7%)	30	目標値は達成できなかったが、令和元年度は30事業、約7億6千万円を予算化し事業を実施しており、平成31.4月に開所した呉西地区成年後見センターの運営や、地図情報システムデジタル航空写真共同撮影に取り組んでいる。予算化した事業の着実な実施に努めていく。
35	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	①教育・保育の一体的提供の推進とサービスの充実	認定こども園の設置数	子ども・子育て課	5年間で10園を認定こども園に移行していく	増加指標	園	4	9 (8)	11 (9)	122.2% (112.5%)	14	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。 平成31年度より、さらに5園が移行しており、引き続き、移行を推進していく。
36	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	①教育・保育の一体的提供の推進とサービスの充実	病児保育(病児対応型及び病後児対応型)事業実施施設数	子ども・子育て課	保育園または病院で1か所増設数	増加指標	施設	3	3 (3)	3 (3)	100.0% (100.0%)	4	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。 令和元年5月から、済生会高岡なでしこ保育園において、病児保育を開始しており、引き続き、設置を推進していく。
37	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	②新たな子育て情報提供システムの構築	スマートフォン用子育て情報提供アプリの登録者数	子ども・子育て課	年間妊娠・出生件数約1,300件を参考として、H33までにその父母の6割の利用登録を目指す。	増加指標	人	H28年度開始	5,500 (3,000)	1,850 (1,403)	33.6% (46.8%)	9,000	登録者数は増加傾向にあることから、サービスの内容については一定の支持を得ているものの、周知が不十分であったことから目標値に届かなかったものと考えている。 令和元年7月には市民と市政7月号からアプリの案内(QRコードによるリンク)を掲載を行った。 今後も、周知方法の改善を図り、登録者の増加につなげたい。

No.	分野	めざすまちの姿(総合計画) /基本目標(総合戦略)	施策	指標	担当課	算出方法及び補足説明	指標区分	単位	基準値	目標値 H30年度 (H29年度)	実績値 H30年度 (H29年度)	達成率 H30年度 (H29年度)	目標値 R3年度	分析と対応
38	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	②新たな子育て情報提供システムの構築	子育てに関する相談対応件数	子ども・子育て課	子育て支援センター等にて対応した相談件数	維持指標	件/年	4,664	4,700 (4,700)	5,280 (5,437)	112.3% (115.7%)	4,700	目標値を達成しており、今後も様々な相談に対応できるよう、相談者の資質向上を図っていく。
39	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	③安心して妊娠・出産・子育てができる体制の充実	◎子育てへの不安・負担度	子ども・子育て課	毎年度、支援の実感度を評価するアンケートを実施 H25調査の41.7%を参考値として設定。	減少指標	%	41.7	32 (34.0)	50.7 (38.6)	41.6% (86.5%)	28.0	本市では待機児童はいないものの、一部の地域では希望する保育所に入園できない、学童保育の待機児童が発生している等の課題がある。 平成30年度は、定塚保育園の移転整備などにより保育所の利用定員の増加に取り組んだ。 令和元年度は、放課後児童クラブについて能町校下において施設整備を行うなど、待機児童の解消を図っていく。 今後も、保育所等の利用定員の増加や放課後児童クラブ等の整備等を実施し、数値の改善に努めていく。
40	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	③安心して妊娠・出産・子育てができる体制の充実	生後3か月までの乳児のいる家庭訪問率	健康増進課	訪問件数/対象家庭数×100 新生児訪問やこんにちは赤ちゃん訪問等を行う。	維持指標	%	99.7	100 (100)	99.7 (99.9)	99.7% (99.9%)	100	3か月健診は受診しているが、3件は電話不通、表れなし、不在であった。 特別な理由がない限り、対象者全員に訪問を実施し取りこぼしがないようにしていく。
41	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	④地域の子育て力の応援	◎子育て支援の実感度	子ども・子育て課	毎年度、支援の実感度を評価するアンケートを実施 H25調査の43.3%を参考値として設定。	増加指標	%	43.3	48.8 (47.7)	37.8 (55.7)	77.5% (116.8%)	52.0	本市では待機児童はいないものの、一部の地域では希望する保育所に入園できない、学童保育の待機児童が発生している等の課題がある。 平成30年度は、定塚保育園の移転整備などにより保育所の利用定員の増加に取り組んだ。 令和元年度は、放課後児童クラブについて能町校下において施設整備を行うなど、待機児童の解消を図る。 今後も、保育所等の利用定員の増加や放課後児童クラブ等の整備等を実施し、数値の改善に努めていく。
42	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	④地域の子育て力の応援	平日の19時までの開所が可能な放課後児童クラブの数	子ども・子育て課	クラブ運営規程にて、「19時までの開所」を規定しているクラブ数を基に設定	増加指標	クラブ	2	6 (4)	2 (2)	33.3% (50.0%)	10	放課後児童支援員及び補助員が不足しており、長時間開設できる受入態勢が整っていないため、目標達成に至らなかった。 引き続き、支援員等の確保に努めていき、長時間開設可能な受入体制を整えてまいりたい。
43	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	①確かな学力・豊かな心・健やかな体をはぐくむ教育の推進	教員研修評価アンケートにおける満足率	学校教育課	研修会後の教員アンケート	増加指標	%	H28年度開始	75 (70)	98.2 (97)	130.9% (138.6%)	80	道徳教育や外国語教育など、教員のニーズにあった研修を企画し、実践的な指導力向上を目指した。 令和2年度からの新学習指導要領の実施を視野に入れ、教職員の資質向上と専門的な力を高める研修を実施し、高岡市の教育の充実を図っていく。
44	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	①確かな学力・豊かな心・健やかな体をはぐくむ教育の推進	児童・生徒1人あたりの学校図書貸出冊数	学校教育課	月平均の児童・生徒の学校図書貸出冊数	増加指標	冊/月	H28年度開始	3.9 (3.8)	3.9 (3.9)	100.0% (102.6%)	4.0	各学校において図書担当教諭や学校司書を中心とし、各校の特色を生かし、児童生徒の読書活動の充実に取り組んだ。 今後も、学校司書研修会等を充実させ、効果的な取り組み等を紹介し、情報を共有する機会を設定し、読書活動の充実に取り組んでいく。
45	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	①確かな学力・豊かな心・健やかな体をはぐくむ教育の推進	学校給食に使用する地場産食材の品目	学校教育課	食育と地産地消を推進するため、地場産食材(青果物)品目数を26品目以上に設定	増加指標	品目	24	26 (26)	23 (24)	88.5% (92.3%)	26	生産者が生産をとりやめた品目、出荷時期と学校給食での使用時期が合致しなかった品目、また、天候の影響・生育状況により確保できなかった品目があったため、目標値に届かなかった。 JA高岡と連絡を密に行い、学校給食での使用時期の情報を共有していく。また、生産量が少ない品目については、一部の学校での使用を検討するなど、可能な限り地場産食材を使用していく。
46	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	①確かな学力・豊かな心・健やかな体をはぐくむ教育の推進	英検3級以上を取得している中学3年生の割合(英検3級以上相当の英語力を有すると思われる生徒を含む)	学校教育課	英語教育実施状況調査による5年で約100人の増加を目指す(H27市内中学3年生数(約1,500人×6%) + α)	増加指標	%	48	50 (50)	56.6 (53)	113.2% (106.0%)	54	小・中学校の教員を対象とした英語・外国語指導研修会等を実施し、英語・外国語活動の授業改善・指導力向上に取り組んだ。 研修会に加え、全国学力・学習状況調査の結果分析や小中9年間を見据えたカリキュラム編成、学校訪問研修会を通して教員の指導力向上を目指していく。

No.	分野	めざまちの姿(総合計画) /基本目標(総合戦略)	施策	指標	担当課	算出方法及び補足説明	指標区分	単位	基準値	目標値 H30年度 (H29年度)	実績値 H30年度 (H29年度)	達成率 H30年度 (H29年度)	目標値 R3年度	分析と対応
47	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	②地域に開かれた特色ある教育活動の充実	◎郷土に誇りをもつ心を育むことができた児童生徒・教員の割合(児童・生徒)	学校教育課	ものづくり・デザイン科学習後のアンケート 高水準である90%を維持	維持指標	児童・生徒 %	90	90 (90)	92.2 (92)	102.4% (102.2%)	90	学校、銅器・漆器組合、指導講師等の連携により、児童生徒の満足度の高い取組となっている。 今後も、他機関と連携を図りながら、豊かな感性と郷土を愛する心の醸成に努めていく。
48	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	②地域に開かれた特色ある教育活動の充実	◎郷土に誇りをもつ心を育むことができた児童生徒・教員の割合(教員)	学校教育課	ものづくり・デザイン科学習後のアンケート 高水準である90%を維持	維持指標	教員 %	90	90 (90)	92.4 (96)	102.7% (106.7%)	90	教員も教育的効果が高いと感じている。若手教員には、教員研修会等を通して作品制作だけでなく「ものづくり・デザイン科」のねらいや意図の周知に努めた。 引き続き、教員研修会等を通して「ものづくり・デザイン科」のねらいや意図の周知に努めていきたい。
49	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	③教育効果を高める教育環境の充実	余裕教室の活用数	教育総務課	小学校の余裕教室で開設している放課後児童クラブ室の数 H33までに12室の増加を目指す (41室で利用想定児童数を網羅予定)	増加指標	室	12	20 (17)	21 (16)	105.0% (94.1%)	26	平成30年度は能町小及び古府小の余裕教室を活用してクラブを開設した。ただし、能町小の余裕教室に開設したクラブ室は令和2年度に普通教室に転用されるため、令和元年度末に校舎外に移転する予定。今後も、学童ニーズの高い校区でクラブを整備する際、小学校の余裕教室を可能な限り活用したい。 児童数の増加により、学童ニーズが高まっている小学校では、余裕教室がない場合が多いが、可能な限り余裕教室を利用し、クラブ室の整備を進めていきたい。
50	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	④高等学校・高等教育機関の充実・連携	大学と連携した事業への参加者数	都市経営課	高岡市と大学との協定等に基づいて実施する事業を抽出 100人の増加を目指す。	増加指標	人/年	260	360 (360)	350 (448)	97.2% (124.4%)	360	学生数の減少などを要因に、目標値に届かなかった。 各大学と連携し、事業のPRを引き続き行い、参加者数を確保することで、事業の着実な実施に努めていく。
51	子育て・教育	10 いくつになっても興味のあることを気軽に学べている	①ライフステージに応じた生涯学習の振興	生涯学習センターの利用者数	生涯学習・文化財課	年間のホール、諸室、コーナー利用者数	増加指標	人/年	254,131	257,000 (256,000)	268,144 (238,017)	104.3% (93.0%)	260,000	目標値を達成しており、今後も事業を継続していく。 平成30年度、市民会館のスタインウェイ等のピアノを生涯学習センターに移設した。また、4月からは従来の貸し出しパソコンを廃止し、Wi-Fiモバイルルータの貸し出しを開始している。今後も、最低限の機能を維持(修繕)しながら、幅広いニーズに対応できるようサービスの向上に取り組んでいく。
52	子育て・教育	10 いくつになっても興味のあることを気軽に学べている	②未来を担う世代の育成と若者が主体となるまちづくりの推進	土曜学習の実施学校数	生涯学習・文化財課	実績の積み上げを見ながら、5年間で5校区数の増加を目指す。	増加指標	校	8	15 (14)	15 (14)	100.0% (100.0%)	18	目標値を達成しており、令和元年度は新たに実施校を1校を増やし、土曜学習の充実を図っていく。
53	子育て・教育	11 いつでも気軽にスポーツを楽しんでいる	①生涯スポーツ活動の充実	体育施設の利用者数	スポーツ課	スポーツ施設の利用促進のPRや市民ニーズに応じた施設整備、改修等により5年間で5%の増加を目指す。	増加指標	人/年	836,440	845,000 (840,000)	791,777 (790,929)	93.7% (94.2%)	878,850	竹平記念体育館の改修により、秋から春にかけての利用者数を確保できなかった(12,000人程度減)。令和元年5月29日よりリニューアルした施設の利用が再開されたので、魅力を発信し、利用促進に向けPRを行う。 また、5月最終水曜日に開催する住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」を有効活用し、スポーツ施設の利用のみならず、運動・スポーツに親しむ市民の増加につなげていく。 その他、主に高齢者をターゲットとしているパークゴルフ場、グラウンド・ゴルフ場の利用者の減少も目立っており、利用促進を図るとともに、令和元年10月より市内体育施設の利用料金の見直しによる利用者の減少が起こらないように工夫していく。
54	子育て・教育	11 いつでも気軽にスポーツを楽しんでいる	②スポーツ施設の充実と効率的な活用	学校体育施設開放の利用者数	スポーツ課	5年間で5%の増加を目指す。	増加指標	人/年	341,340	351,900 (348,450)	322,771 (322,600)	91.7% (92.6%)	362,250	各利用団体の団員数の減少や、既存登録団体の利用が飽和状態にあるため新規団体の受け入れが困難な現状にある。 今後は、複数団体による分割使用や利用時間の細分化などを検討し、事業が滞りなく進むよう、正確な事務手続きを行う。また、各学校や運営委員会からの要望に耳を傾け、利用者相互のコミュニケーションの円滑化や、体育施設の修繕等に資するようにしていく。
55	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている	①地域福祉の推進	福祉ボランティア登録人数	社会福祉課	高岡市ボランティアセンター登録人数。 毎年、12,000人維持を目指す。	維持指標	人/年	11,396	12,000 (12,000)	11,923 (10,796)	99.4% (90.0%)	12,000	平成29年度実績(10,796人)からは増加しているものの、目標値には届かなかった。 市民ボランティアの養成活動支援を行うとともに、広報・啓発活動や援助を求める人と活動者とのコーディネートなどを行うことで、登録者数の増加に努めていく。

No.	分野	めざすまちの姿(総合計画) /基本目標(総合戦略)	施策	指標	担当課	算出方法及び補足説明	指標区分	単位	基準値	目標値 H30年度 (H29年度)	実績値 H30年度 (H29年度)	達成率 H30年度 (H29年度)	目標値 R3年度	分析と対応
56	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている	②障がい者(児)福祉・自立支援対策の充実	障がい者相談支援センター相談件数	社会福祉課	気軽に相談できる体制づくりを目指し、毎年11,000件の維持を目指す。	維持指標	件/年	10,855	11,000 (11,000)	15,992 (13,579)	145.4% (123.4%)	11,000	目標値を達成しており、今後も、相談支援事業所での相談事業を引き続き実施していく。
57	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている	②障がい者(児)福祉・自立支援対策の充実	年間新規就労者数	社会福祉課	民間作業所・障がい者雇用支援事業団・特別支援学校から就労した人数。 毎年50人を目指す。	増加指標	人/年	34	50 (50)	32 (26)	64.0% (52.0%)	50	就労支援施設や支援学校において一般就労に向けた就労支援を継続的に行っている。実績が増減するのは、支援学校の卒業生数が年度ごとに異なるためである。 今後も障害特性に合わせた就労支援の取組みを継続し、障がい者雇用の促進を目指す。
58	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている	③高齢者福祉の充実	認知症サポーター養成数	高齢介護課	養成講座の受講者数をH29～H31は年間1,500人、H32、H33は年1,000人を目指す	増加指標	人	12,039	16,500 (15,000)	17,344 (15,906)	105.1% (106.0%)	20,000	平成30年度は、地域住民等を対象にした養成講座のほか、生活の中で認知症の人と関わる人が多いスーパー、コンビニなどの店員をを対象とした講座を2回実施した。 今年度は、従来の地域住民に加え、看護学生を対象とした講座(4月)や医療機関の窓口事務担当者、理・美容院にお勤めの方への講座(10月)を実施し、更なる普及啓発に努める。
59	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている	③高齢者福祉の充実	徘徊SOSダイヤルシステム登録者数	高齢介護課	毎年20人の登録者を目指す	増加指標	人	117	180 (160)	167 (146)	92.8% (91.3%)	250	認知症高齢者およびその家族に対し、相談・支援の機会を通じて、事業について情報提供を実施しており、平成30年度の新規登録者は30人であった。 相談・支援機関(地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等)を通じて、事業のPRを引き続き行い、必要な方の登録を進めていく。 (平成30年度登録削除者 9人:入所・入院、死亡など状態の変化による)
60	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている	③高齢者福祉の充実	介護予防日常生活総合事業における住民主体の通いの場の立ち上げ数	高齢介護課	H33までに50カ所の通いの場立ち上げを目指す。	増加指標	カ所	20	40 (30)	90 (47)	225.0% (156.7%)	50	箇所数、参加者数は増えているものの、今後は介護予防についての無関心層への働きかけが必要であると考える。 令和元年度から、はつらつ広場立ち上げ補助金制度を設け、月2回以上の体操を取り入れた活動を促進している。
61	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている	③高齢者福祉の充実	介護予防日常生活総合事業における住民主体の通いの場の一般介護予防事業の参加者数	高齢介護課	H33までに50カ所の通いの場立ち上げを目指す。	増加指標	人	62,500	67,000 (65,500)	72,571 (63,179)	108.3% (96.5%)	70,000	参加者数は増加しているが、今後、介護予防についての無関心層への働きかけが必要であると考える。 参加者の増加に向け、ケーブルテレビ等住民への啓発の機会を捉えて普及啓発を行っていく。
62	安全・安心	13 健康的な生活を送り、必要な時に適切な医療を受けられる	①生涯を通じた健康づくりの推進	健康寿命	健康増進課	市民の平均寿命から介護を要する平均期間(要介護2以上)を差し引いた期間	増加指標	男:歳	78.03 (H26)	78.41 (78.22)	集計中 (78.97)	— (101.0%)	79.00	健康寿命の延伸は、高岡市健康増進計画「健康たかおか輝きプラン(第2次)」の基本目標である。新たに健康づくり市民行動目標「健康たかおか10か条」を定め、各種事業で普及・啓発に努めている。また、平成30年度高岡市健康・栄養調査を実施し、1日の平均歩数の減少や、朝食を摂らない人の割合、睡眠による休養が十分にとれてない人の割合が増加するなど、改善がみられていない項目を把握した。 令和元年度から、イオンモール高岡や済生会高岡病院と連携し健康講座等の実施や、食生活改善推進員が保育園児の保護者に対し、「親子の食育」と題して朝食の摂取と野菜の摂取の啓発を行うなど、関係機関・団体と連携していく予定である。また、ケーブルテレビでの簡単に作れる朝食レシピ等についての放映、広報で健康たかおか10か条に関する特集ページなど、各種事業で普及・啓発に努めていく。 課題を踏まえ、今後も関係機関・団体と連携を強化する。

No.	分野	めざすまちの姿(総合計画) /基本目標(総合戦略)	施策	指標	担当課	算出方法及び補足説明	指標区分	単位	基準値	目標値 H30年度 (H29年度)	実績値 H30年度 (H29年度)	達成率 H30年度 (H29年度)	目標値 R3年度	分析と対応
63	安全・安心	13 健康的な生活を送り、必要な時に適切な医療を受けられる	①生涯を通じた健康づくりの推進	健康寿命	健康増進課	市民の平均寿命から介護を要する平均期間(要介護2以上)を差し引いた期間	増加指標	女:歳	83.55 (H26)	83.73 (83.64)	集計中 (83.44)	— (99.8%)	84.00	健康寿命の延伸は、高岡市健康増進計画「健康たかおか輝きプラン(第2次)」の基本目標である。新たに健康づくり市民行動目標「健康たかおか10か条」を定め、各種事業で普及・啓発に努めている。また、平成30年度高岡市健康・栄養調査を実施し、1日の平均歩数の減少や、朝食を摂らない人の割合、睡眠による休養が十分にとれていない人の割合が増加するなど、改善がみられていない項目を把握した。 令和元年度から、イオンモール高岡や済生会高岡病院と連携し健康講座等の実施や、食生活改善推進員が保育園児の保護者に対し、「親子の食育」と題して朝食の摂取と野菜の摂取の啓発を行うなど、関係機関・団体と連携していく予定である。また、ケーブルテレビでの簡単に作れる朝食レシピ等についての放映、広報で健康たかおか10か条に関する特集ページなど、各種事業で普及・啓発に努めていく。 課題を踏まえ、今後も関係機関・団体と連携を強化する。
64	安全・安心	13 健康的な生活を送り、必要な時に適切な医療を受けられる	①生涯を通じた健康づくりの推進	国民健康保険特定健康診査受診者における高血糖有所見者の割合	保険年金課	国保データベース(KDB)システムのデータを活用した、特定健康診査受診者に対するHbA1c(ヘモグロビンエイワンシー)5.6%以上の割合	減少指標	%	77.6	72.5 (72.8)	74.4 (77.3)	97.4% (93.8%)	71.6	目標値は達成していないが、減少傾向にある。 本市は有所見者の割合が高く、重点的な取り組みが必要であることから、第2期データヘルス計画に基づく糖尿病対策事業の実施により減少を目指していく。
65	安全・安心	13 健康的な生活を送り、必要な時に適切な医療を受けられる	②医療体制・医療制度の充実	市民病院と地域医療機関等との患者の紹介率・逆紹介率(紹介率)	市民病院	紹介率: $A \div (B - C) \times 100$ 逆紹介率: $D \div (B - C) \times 100$ A: 紹介患者の数、B: 初診患者の数、C: 休日夜間救急患者の数、D: 逆紹介患者の数	増加指標	紹介率(%)	31	43 (40)	63.5 (41.4)	147.7% (102.5%)	50	目標値を達成しており、引き続き、人口増の地区や本院入院患者が多い地区へ院長をはじめ幹部が重点的に開業医訪問し、本院の強みをPRしていく。最新鋭リニアックなど高度医療機器もPRし、紹介患者増へつなげていく。
66	安全・安心	13 健康的な生活を送り、必要な時に適切な医療を受けられる	②医療体制・医療制度の充実	市民病院と地域医療機関等との患者の紹介率・逆紹介率(逆紹介率)	市民病院	H33の目標値は、地域医療支援病院の認定要件の数値	増加指標	逆紹介率(%)	43	63 (60)	92.2 (56.8)	146.3% (95.0%)	70	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。 地域医療機関への迅速な返書の送付や、逆紹介数を増加させるため、医局会等で本院医師に対し逆紹介を促していく。 引き続き、地域医療機関との「顔の見える連携」を推進していく。
67	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている	①環境保全意識の高揚	住宅用太陽光発電の能力合計	地域安全課	H33には標準世帯の能力(4kw)の約2,000世帯相当を目指す	増加指標	kw	5,138	6,500 (6,000)	6653.1 (6191.1)	102.4% (103.2%)	8,000	目標値を達成しており、今後も事業を継続し、対象とする省エネ機器や補助金額の見直しは行わずに、引き続き目標値を確保していく。
68	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている	①環境保全意識の高揚	こどもエコクラブ数	地域安全課	幼稚園・保育園、認定こども園の全体の60%加入を目指す	増加指標	園/年	21	27 (25)	32 (28)	118.5% (112.0%)	33	目標値を達成しており、今後も事業を継続し、新規園に直接、周知・勧誘にまわるなどし、参加園を確保していく。
69	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている	②環境保全対策の充実	美化協定団体数	環境サービス課	毎年1団体ずつの増加を目指す	増加指標	団体	47	52 (51)	52 (53)	100.0% (103.9%)	55	目標を達成しており、引き続き、市のホームページやごみの出し方の出前講座などを通して広報を継続していく。
70	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている	②環境保全対策の充実	美化重点地区の美化活動参加者数	環境サービス課	近年参加者数が減少傾向にある中、17,000人の維持を目指す	維持指標	人/年	16,912	17,000 (17,000)	15,545 (16,800)	91.4% (98.8%)	17,000	近年の人口減少、地域ボランティア活動の参加が減少していることが考えられる。 世界で最も美しい湾クラブ世界総会開催直前に海岸特別清掃への積極的な参加を呼びかけたところであり、引き続き、市のホームページ、市の広報誌等を使った清掃美化活動の啓蒙・啓発と参加の呼びかけを行っていく。
71	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている	③ごみの減量化・資源化の推進	ごみの再生利用率	環境サービス課	ごみの分別の徹底し、リサイクル率の維持に努める	維持指標	%	21.0	21 (21)	21.3 (21.2)	101.4% (101.0%)	21.0	目標値を達成しており、引き続き、プラゼロ運動などの取り組みにより、ごみ資源化の啓発活動を継続していく。
72	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている	③ごみの減量化・資源化の推進	ごみの排出量	環境サービス課	ごみの発生抑制を推進し、ごみの減少を目指す	減少指標	t	62,082	61,180 (61,530)	61,015 (61,489)	100.3% (100.1%)	60,130	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。 ごみ排出量は減少傾向にあるが、引き続き、プラゼロ運動やフードロス削減などの取り組みを進め、ごみの削減を目指すしていく。

No.	分野	めざまちの姿(総合計画) /基本目標(総合戦略)	施策	指標	担当課	算出方法及び補足説明	指標区分	単位	基準値	目標値 H30年度 (H29年度)	実績値 H30年度 (H29年度)	達成率 H30年度 (H29年度)	目標値 R3年度	分析と対応
73	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている	③ごみの減量化・資源化の推進	埋立ごみ搬入量	環境サービス課	ごみの分別を徹底し、埋め立てごみの減少と焼却量の減少に努める	減少指標	t	7,656	7,560 (7,595)	6,212 (6,294)	117.8% (117.1%)	7,455	目標値を達成しており、引き続き、埋立ごみの減少と焼却量の削減を目指し、ごみの分別の周知・啓発活動を継続していく。
74	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	①防災対策の充実	校下(地区)連絡協議会設置数	総務課	年間3校下を目途にH33年度までに36校下での実施を目指す。	増加指標	地区	18	27 (24)	30 (25)	111.1% (104.2%)	36	平成30年度は積極的な自治会への説明を行ったため、目標値を上回る校下で連絡協議会の設置を達成できた。 残り博労、川原、古府、太田、西五位、五位山地区のいずれか2地区以上での連絡協議会設立に向け、説明を行っていく。
75	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	①防災対策の充実	わがまち訓練の実施地区数(累計)	総務課	H33年度までに36校下で風水害をイメージした防災訓練を実施する。	増加指標	地区	6	19 (11)	20 (10)	105.3% (90.9%)	36	概ね計画どおりの校下で実施しており、今後も36校下での防災訓練実施に向け準備を進めていく。 9月1日に高岡市総合防災訓練を実施した。(対象校下は伏木、太田、古府、牧野の4校下)
76	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	①防災対策の充実	デジタル化に対応した防災行政無線子局設置数	総務課	5年間で37子局の設置を目指す。	増加指標	局	87	112 (105)	105 (99)	93.8% (94.3%)	142	子局を含めた情報伝達システムについて、全体的な整備方針を令和元年度末までに決定(見直し)することとしており、平成30年度は実績なしであった。 土砂災害地区への子局整備は令和元年度で完了する予定である。13局(守山地区7局、中田地区6局)を整備予定。(計118局)
77	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	②消防・救急・救助体制の充実	救命講習会修了者数	消防本部	毎年1,350人維持を目指す	維持指標	人/年	1,326	1,350 (1,350)	3,218 (1,586)	238.4% (117.5%)	1,350	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。 市民に対して、従来の普通・上級・普及員・実務救命の講習のほか、市民が講習しやすい時間設定で、AEDの取り扱いを含めた心肺蘇生法に特化した「救急入門コース」の受講者を実績値として加算したことが大幅な増加に繋がった。 今年度も救命講習を引き続き実施し、受講者数を確保する。
78	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	②消防・救急・救助体制の充実	防火防災講習会参加者数	消防本部	予防事務結果集計等を利用 毎年150人の増加を目指す	増加指標	人/年	1,784 (H25-H27 平均値)	1,950 (1,800)	2,630 (3,563)	134.9% (197.9%)	2,400	目標値を達成しており、引き続き、地域住民などに対して防火・防災講習会を積極的に開催していく。
79	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	③道路整備、交通安全・防犯対策の充実	交通安全教室の実施回数	地域安全課	小学校下相当数の回数を目指す	増加指標	回/年	21	23 (22)	22 (23)	95.7% (104.5%)	26	市主催教室の他に警察・交通安全協会単独主催の教室も広範囲の地区で開催している。最近の交通事情を踏まえ、講座内容を随時見直していく。 引き続き、広報やHPで教室の周知・回数の増加に努めていく。
80	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	④緑化の推進と保全	花いっぱい連盟会員数(個人)	花と緑の課	毎年5人の新たな会員を目指す	増加指標	人	772人	795 (790)	652 (686)	82.0% (86.8%)	810	平成29年度から34名減少。花苗配布時や毎年9月頃に各自治会への班回覧にて会員募集を行っているが、周知不足やニーズの対応不足が原因と考えられる。イベント時等に積極的に会員募集を案内することや、市民のニーズにあった花苗の斡旋を行う。
81	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	④緑化の推進と保全	花いっぱい連盟会員数(団体)	花と緑の課	毎年5団体の新たな会員を目指す	増加指標	団体	177団体	195 (190)	174 (152)	89.2% (80.0%)	210	平成29年度より22団体増加。過去5年の平均団体会員が170団体であるため、平成30年度に増加したというよりは、平成29年に大幅に減少していることが問題であった。今後は、団体の主な会員である自治会へのさらなる募集の呼び掛けを継続していくことと、保育園、小中高校や企業への入会を働きかける。
82	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	④緑化の推進と保全	市街地の緑地率	花と緑の課	都市公園及びその他緑地(施設緑地、地域性緑地)の面積÷市街化区域面積及び用途地域面積	増加指標	%	19.1	19.2 (19.2)	18.8 (18.8)	97.9% (97.9%)	19.4	開発行為による緑地が3件、民間施設緑地が1件増えたものの、その他の緑地については、平成29年度と同様であったため、前年度の数値に留まった。 (750.32ha÷3,985ha=18.8%) 人口減少下において、公園の適正配置などの課題がある中で、地域や民間による緑化推進に取り組んでいく。
83	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	⑤河川・海岸の保全・整備	河川整備率	土木維持課	河川改修率	増加指標	%	86.1	86.5 (86.3)	86.9 (86.3)	100.5% (100.0%)	88.2	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。 令和元年度は、準用河川の内古川、守山川、大井川の3河川で河川改修を実施する予定である。

No.	分野	めざすまちの姿(総合計画) /基本目標(総合戦略)	施策	指標	担当課	算出方法及び補足説明	指標区分	単位	基準値	目標値 H30年度 (H29年度)	実績値 H30年度 (H29年度)	達成率 H30年度 (H29年度)	目標値 R3年度	分析と対応
84	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	⑥雪対策の充実	民間消雪施設の更新・拡充	土木維持課	耐用年数を超過した43箇所の更新と新規箇所(年1件)の整備を支援する。	増加指標	箇所/年	4	6 (6)	6 (1)	100.0% (16.7%)	5	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。 相談を受けている組合が複数残っており、連絡を密にしていく。
85	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	⑦上・下水道の整備	上水道管路の耐震化率	上下水道局	上水道管路全体に対する耐震管路の占める割合	増加指標	%	21.3	23.2 (22.6)	23.4 (22.7)	100.9% (100.4%)	25.1	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。 延長 金額(千円) 全体 8.3km 882,330 【内訳】 老朽管布設替整備 5.0km 653,869 配水管路整備 2.9km 202,450 未普及地域整備 0.4km 26,011
86	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	⑦上・下水道の整備	下水道普及率	上下水道局	行政区域内人口に対する処理区域内人口の占める割合	増加指標	%	93.3	94.0 (93.8)	94.1 (93.9)	100.1% (100.1%)	94.7	目標値を達成しており、今後も事業を継続するとともに、国の方針により、所管の公共下水道及び農業集落排水施設に加え、所管外の合併処理槽を含めた汚水処理のあり方(整備方針)について協議していく。 延長 金額(千円) 全体 6.4km 835,200 【内訳】 未普及地域整備 6.4km 835,200
87	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	⑧消費生活の向上	消費生活に関する相談件数	共創まちづくり課	本市への電話、訪問、出張相談の合計件数。 毎年500件の維持を目指す。	維持指標	件/年	530	530 (530)	672 (633)	126.8% (119.4%)	530	目標値を達成しており、引き続き、相談体制を維持させるとともに、複雑化する消費者トラブルに対応するために研修等とおして相談員の資質の向上に努めていく。
88	安全・安心	16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている	①市民が主役の地域づくりへの支援	市民活動情報ポータルサイト登録団体の数	共創まちづくり課	毎年4件ずつの増加を目指す	増加指標	団体	156	168 (164)	153 (155)	91.1% (94.5%)	180	団体からの申し出により整理を行ったが、SNS等の普及により、登録団体数の伸びが落ち込んでいる現状である。 今後の増加に向けて、登録検討中の団体、未登録団体への依頼、新たに組織化された団体の掘り起し等を進めていく。特に、共創支援事業に関係する未登録団体に対して登録を促していく。
89	安全・安心	16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている	①市民が主役の地域づくりへの支援	地域コミュニティセンターの利用者数(各地区の合計)	共創まちづくり課	ホール、会議室、図書館等の利用者数 年間180,000人の利用を目指す	維持指標	人/年	170,591 (H25-H27の 平均値)	180,000 (180,000)	242,447 (226,491)	134.7% (125.8%)	180,000	目標値を達成しており、今後はコスト面も考慮し事業を継続する。 市内3カ所のコミュニティセンターにおいて、利用者に身近な地元関係者が指定管理者となり、施設管理者と担当課のミーティングを行いサービスの水準を均一化する。施設条例の範囲内において可能な限り柔軟に対応することとし、市民に対し親切・丁寧・きめ細やかな運営を行っていく。
90	安全・安心	16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている	②多文化共生社会の推進	通訳・ホームステイ等のボランティアの登録者数	共創まちづくり課	本市で登録しているボランティアの数 毎年10人ずつの増加を目指す	増加指標	人	135	150 (140)	168 (150)	112.0% (107.1%)	180	目標値を達成しており、引き続き、高岡市多文化共生プランに基づく施策に取り組み、多文化共生に対する理解を広めていく。
91	安全・安心	16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている	②多文化共生社会の推進	外国人のための生活相談コーナー(市役所1階)の利用者数	共創まちづくり課	在住外国人の生活上の課題を気軽に相談できる体制づくりを目指し、毎年2,700人維持を目指す	維持指標	人/年	2,699	2,700 (2,700)	2,366 (2,419)	87.6% (89.6%)	2,700	外国籍市民が長期定住化傾向にあることから、相談件数が減少したと考えられる。一方で外国籍市民は増加していることから、窓口、市ホームページ、国際交流センター等で広報を行っていく。
92	安全・安心	16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている	③男女平等・共同参画社会の実現	男女平等・共同参画に関する講座等の開催回数	男女平等・共同参画課	毎年40回の開催を目指す	増加指標	回/年	34	40 (40)	40 (43)	100.0% (107.5%)	40	目標値を達成しており、引き続き、時勢を踏まえ、市民が興味を持てる内容の講座の開催に努めていく。
93	安全・安心	16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている	④平和な地域社会の形成	人権セミナーの参加者数	共創まちづくり課	毎年10人ずつの増加を目指す	増加指標	人/年	352	370 (360)	346 (368)	93.5 (102.2%)	400	平成30年度は、近年話題のインターネットに関するものをテーマとした。受講者からは好評であったが、来場いただくための更なる周知が必要である。 世の中の動向を見ながら興味を引く講師を選定するとともに、各種団体等に声をかけ、参加者の増加を図っていく。

No.	分野	めざすまちの姿(総合計画) /基本目標(総合戦略)	施策	指標	担当課	算出方法及び補足説明	指標区分	単位	基準値	目標値 H30年度 (H29年度)	実績値 H30年度 (H29年度)	達成率 H30年度 (H29年度)	目標値 R3年度	分析と対応
94	安全・安心	17 市役所が市民に信頼され、責任を持って取り組んでいる	①市民に開かれた市政の推進	まちづくりの出前講座の年間参加者数	都市経営課	毎年4,000人の参加者数を維持する	維持指標	人/年	3,904 (H23-H27の 平均値)	4,000 (4,000)	5,947 (4,682)	148.7% (117.1%)	4,000	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。防災関連の講座が人気があるほか、平成30年度は健康寿命を延ばしましょう(健康たかおか10カ条)の実施が増加した。事業のPRを引き続き行い、参加者数を確保していく。
95	安全・安心	17 市役所が市民に信頼され、責任を持って取り組んでいる	②高度情報化の推進	オープンデータの掲載データ数	広報情報課	機械判読に適した形式のデータ数 (第3段階以上: CSVなど) 毎年5件ずつの掲載を目指す	増加指標	件	13	25 (20)	18 (13)	72.0% (65.0%)	40	国が示す「推奨データセット」に提示されたデータ(csv形式)を県下一斉に公開を始めたことに加え、これまでエクセル形式で公開していたものをcsv形式での公開に切り替えを行ったため、H29年度に比べ達成率が上昇し、今後も上昇していく見込み。現在提供しているデータの中で、機械判読に適したデータ形式で提供可能なものの洗い出しを行い、情報提供課とも協議しながら、データの公開につなげていく。
96	安全・安心	17 市役所が市民に信頼され、責任を持って取り組んでいる	③簡素で効率的な行財政の推進	職員への信頼度	人事課	市民意識調査(窓口アンケート)の結果を利用	増加指標	%	88 (H28アンケート調査 結果)	88 (88)	88 (94)	100.0% (106.8%)	90	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。組織目標の共有・実現に向けて、職場ミーティングや人事評価制度の目標設定、面談などに取組み、各職員の組織目標に対する理解向上と目的意識の高揚を図り、市民に信頼される行政を目指していく。